



発行：令和3年6月
 編集：武蔵野市総合政策部企画調整課
 オリンピック・パラリンピック担当
 武蔵野市緑町2-2-28 TEL：0422-60-1970

むさしのジュニア2020通信 Vol.5

武蔵野市では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けた武蔵野市実行委員会を立ち上げ、「むさしのジュニア 特派員」という取り組みを行っています。

市内の小・中・高校生が集まり、スポーツイベントを中心とした取材を行い、広報誌を作成しています。特派員たちが自分の言葉で書いた記事からは、東京2020大会等へのワクワクした気持ちが伝わってきます。

Vol.5は第二期のメンバーで作成をしています。スポーツイベントの開催・参加が難しい状況のため、今回は市ゆかりの選手に個別で取材を行い、それを記事にしました。

今回は武蔵野市ゆかりの選手特集です。

これを機に市ゆかりの選手にも注目してみてください！

第二期メンバーのジュニア特派員が楽しいニュースを皆様にお届けします！

編集長 あいさつ

ジュニア特派員編集長
 讚井 彩夏

ついにむさしのジュニア特派員通信も5号目となりました。コロナ禍で活動しづらい状況の中、間近に迫ってきている東京オリンピック・パラリンピックに向けて、多くのアスリートから話を伺いました。自分たちで競技の体験をし、その経験を伝えていた今までの記事とは異なり、今回は武蔵野市にゆかりのある選手や、武蔵野市と連携しオリンピック・パラリンピックに向けた活動をしている大学生にインタビューを行いました。

個人的には、武蔵野市がホストタウンという繋がりを持つルーマニアで活躍しているパラアスリートの方とパラリンピック委員会会長の方の話が聞けたことが今回の活動の中でもっとも印象に残っています。中でも、「Look to the future, not in the past」という会長の言葉が、話を聞いていく中で大切だと感じ、紹介したいと思いました。「過去ではなく、未来を見続ける」という内容のこの言葉はこの号を読む皆様を含め、大会に参加する選手やさまざまな形で関わる人々に考えていただきたい言葉です。



武蔵野市ゆかりの選手紹介

いわぶち まな せんしゅ / 真奈選手 / 女子サッカー / 市出身



©大木雄介

せいねんがっぴ ねん がつ にち
生年月日：1993年3月18日
しゅっしん がっこうほうじんむさしのひがしがくえん
出身：学校法人武蔵野東学園
むさしのひがししょうがっこう
武蔵野東小学校
いちりつだいろくちゅうがっこう
→市立第六中学校
しよぞく
所属：アーセナル・ウィメンFC
(イングランド)
なでしこジャパン
ポジション：フォワード

なべしま りな せんしゅ / 莉奈選手 / 女子陸上 / 市在勤



提供：
日本郵政株式会社

せいねんがっぴ ねん がつ にち
生年月日：1993年12月16日
しゅっしん こうちけん
出身：高知県
しよぞく にほんゆうせい
所属：日本郵政グループ
女子陸上部キャプテン
せいせき ねんにほんせんしゅけん
成績：2019年日本選手権
10000m 1位
5000m 2位
※鍋島選手は2021年4月から、
武蔵野市外で勤務しています

ありま ゆうみ せんしゅ / 優美選手 / 女子水球 / 市在住・在勤



せいねんがっぴ ねん がつ にち
生年月日：1997年9月9日
しゅっしん かごしまけん
出身：鹿児島県
しよぞく あんどうしょうじかぶしがいしゃ
所属：安藤商事株式会社
にほんすいきゅうじょしだいひょう
日本水球女子代表
ポジション：フィールドプレーヤー
せいせき だい かいせ かいすいせいせんしゅけん
成績：第18回世界水泳選手権
13位

よしだ たくま せんしゅ / 拓馬選手 / 男子水球 / 市在勤



せいねんがっぴ ねん がつ にち
生年月日：1994年10月11日
しゅっしん しがけん
出身：滋賀県
しよぞく とうきょう
所属：東京ガスライフバル 武蔵野
にほんすいきゅうだんしだいひょう
日本水球男子代表
ポジション：フィールドプレーヤー
せいせき だい かいせ かいすいせいせんしゅけん
成績：第18回世界水泳選手権
11位

あおき ようこ せんしゅ / 洋子選手 / ブラインドマラソン / 市在勤



せいねんがっぴ ねん がつ にち
生年月日：1976年6月28日
しゅっしん みやぎけん
出身：宮城県
しよぞく かぶしがいしゃ
所属：NTTクラリティ株式会社
せいせき べっおおいたまいにち たいかい
成績：別府大分毎日マラソン大会
兼東京2020パラリンピック
視覚障がいマラソン代表推
せんせんしゅさいしゅうせんこうたいかい
薦選手最終選考大会 2位

たなか あきひと せんしゅ / 章仁選手 / ブラインドサッカー / 市在勤



せいねんがっぴ ねん がつ にち
生年月日：1978年5月8日
しゅっしん しずおかけん
出身：静岡県
しよぞく かぶしがいしゃ
所属：NTTクラリティ株式会社
たまハッサーズ
せいせき
成績：Santen IBSA ブラインド
サッカーワールドグランプリ
2021 in 品川 準優勝

アレックス・ボロガ選手 / 男子視覚障害者柔道 / ルーマニア(ホストタウン)



せいねんがっぴ ねん がつ にち
生年月日：1995年11月7日
しゅっしん ルーマニア クルージュ=ナポカ
出身：ルーマニア クルージュ=ナポカ
しよぞく
所属：ウッドラモントスポーツクラブ
せいせき ねんおうしゅうしかくしょうがいしやじゅうどうせんしゅけん ゆうしょう
成績：2019年欧州視覚障害者柔道選手権 優勝
世界ランキング1位

※鍋島選手は2021年4月から、武蔵野市外で勤務しています

2月26日(金) オンライン取材@武蔵野市役所 ⇨ 選手寮

昨年さくねんの1月に開催したSports for All陸上にもゲストとして参加さんかしてもらい、ジュニア特派員とくはいんの取材にも応じてくれた鍋島選手なべしませんしゅ。今回は前回とは違う特派員とくはいんが取材おこなを行いました。

選手寮せんしゅりょうからリモートで取材しゅざいに応じてくれた鍋島選手なべしませんしゅ。なかなか見ることが出来ない選手寮せんしゅりょうの中なかも特別とくべつに案内あんないしてくれました！選手たちせんしゅが普段暮らしている選手寮せんしゅりょうってどんなところだろう？想像そうぞうしながら読んでみてください。



選手寮のトレーニングルームで器具の使い方の説明をしてくれました



歴代のメダルやトロフィーも！



オンライン取材に参加する辻田特派員

コロナ禍での鍋島選手へのZOOMインタビュー

Q1. 選手寮の中はどうなっているのですか？

A1. トレーニングルームや酸素カプセルなどの設備せつびがあり、施設内しせつないにはメダルや写真しゃしんがあります。

Q2. コロナ禍でどうやって練習をしましたか？

A2. 外で行う活動かつどうが制限せいげんされるようになったり（マスクなど）、通常つうじょうの施設しせつが使えなかったりと、練習をする場所ばしょが限られてしまっただけからは、寮のトレーニングルーム内の機械きかいを使ってトレーニングを続けました。コロナの前まえはとても良い環境かんきょうでトレーニングさせてもらっていたことを、改めて感じました。

Q3. オリンピックに向けての今の意気込みをお願いします。

A3. オリンピックが延期えんきとなったことで、広い世代ひろの選手せんしゅが出場権しゅつじょうけんを得られるチャンスえが広がりました。それと同時に競争率きょうそうりつも上がってしまったので、しっかりとトレーニングを続けていきたいです。

ZOOMを使ったインタビューでは、ただ部屋へやの中で話をはなしするだけではなく、選手寮せんしゅりょうの中なかも案内あんないしてもらいました。トレーニングに使う道具どうぐや、酸素カプセルさんそ、これまでに大会たいかいのメダルや写真しゃしんなど、普段の選手達せんしゅたちのトレーニングの様子や、大会での成果せいこを見ることが出来ました。コロナの中なかでも決してあきらめず、大会に向けてトレーニングを続けている鍋島選手なべしませんしゅを、これからも応援おうえんしていきたいと思いました。

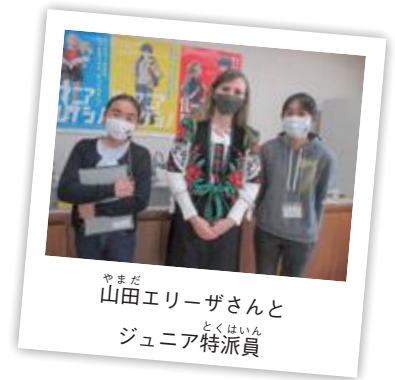
(取材・文)辻田 裕樹

ホストタウンサミット2021

2月21日(日) 対面取材@武蔵野市民会館

日本全国のホストタウンがオンライン中継を通して各自治体の取り組みを発表したり、オンラインでe-スポーツやポッチャを通じた交流を行ったホストタウンサミット。

その中の1プログラムで、「世界のおもてなし料理プロジェクト」に武蔵野市はルーマニアホストタウンサミットとして参加しました。当日はルーマニア出身で武蔵野市在住の山田エリーザさんを中心に考案した「小松菜のルーマニア国旗カナッペ」と「チョルバdeうどん」を調理し、オンラインで発表しました。エリーザさんとブラショフ市民の会の皆さんにルーマニアのこと、今回の料理の作成秘話などについて伺いました。



世界のおもてなし料理プロジェクト

Q1.ホストタウンサミットとは何ですか？

A1.オリパラに向けて毎年開催しています。コロナの関係で今年はオンラインでの開催となりました。活動としては交流の報告を行っています。今回はおもてなし料理を紹介します。

Q2.今日のメニューと特徴を教えてください。

A2.小松菜を生で調理することでシャキシャキの食感を残しています。ちなみに小松菜は武蔵野市の地元産の野菜でもあります。

Q3.エリーザさんが今着ている服はルーマニアのものですか？

A3.はい。上の服の刺繍はルーマニアの伝統刺繍です。この刺繍は地域差があり、色づかいが喪と祝で違います。

小松菜と日本の食材を使ったルーマニアの料理やエリーザさんの服の話は、慣れ親しんだ食材の意外な調理法やルーマニアの文化を知るとともに日本文化との共通性などが見つけられ、ルーマニアをより身近に感じることができました。

(取材・文)川田 彩加

緊張感ただよう、オンライン中継の現場

私たちは、「世界のおもてなし料理プロジェクト」の中継の様子を見学しました。中継では、地元食材や郷土料理を活用した相手国へのおもてなし料理の発表や、使用した食材の紹介を行いました。

料理を作ったのは、ブラショフ市民の会の皆さん。ルーマニア国旗色の、青・黄・赤のエプロンを身につけて出演しました。リーダーの山田エリーザさんが着たのは、ルーマニアの民族衣装。繊細で華やかな刺繍が特徴です。

本番前には、手順やセリフ、時間配分など細かいところまで確認していて、緊張感がただよっていました。エリーザさんが料理について語る姿からは、ルーマニアへの愛が感じられました。

(取材・文)北 みれい

▶小松菜のルーマニア国旗カナッペ



◀チョルバdeうどん

(麺は武蔵野地粉うどんを使用)



▶今回作った料理について
レシピ等はこちら！



成蹊大学ルーマニア交流事業

2月26日(金)オンライン取材@武蔵野市役所 ⇄ 成蹊大学 ⇄ ルーマニア

成蹊大学ルーマニア交流事業とは、成蹊大学の学生・教職員が一緒になってオリパラを応援しようと立ちあがった成蹊大学オリパラプロジェクトの中の一事業です。今回は成蹊大学の学生2名がルーマニアのパラアスリートへ英語でインタビューを行うということで一緒に参加をさせていただきました。後日ジュニア特派員から学生2名にインタビューを行いました。

ルーマニア交流事業で活動している成蹊大学の竹内教授と大学生2名にお話を伺いました

成蹊大学が実施しているルーマニア交流事業の企画として行われたルーマニアのパラアスリートのアレックス選手、そしてパラリンピック委員会のサリー会長へのインタビューに参加させていただきました。その中で印象的だった質問・回答を紹介します。

Q1. 今回のインタビューをすることになったきっかけや、企画の趣旨を教えてください。

A1. コロナ禍でもできることとして、学生主催の企画として始めました。オリンピック・パラリンピックを「4年に一度の大会」というだけでなく、大会が終わった後にも続く交流や文化の学びなどにつなげたいという思いで活動中です。

Q2. 個人的にどのような回答が印象に残っていますか？

A2. 実際に障害を持ちながらも自分の体の使い方理解していたり、強くなることを目指し続けている選手の話と、過去よりも未来を考えないといけない、という言葉です。

Q1. (サリー会長に対して) 現在のルーマニアのパラリンピックに対する人気度についてどう考えていますか？

A1. これまで行ってきた活動により、人気度は上がってきましたが、まだ十分ではありません。今後もパラリンピックに関するキャンペーンを行ったり、学校でパラスポーツを身近に感じられる機会を設けていきます。

Q2. (アレックス選手に対して) 精神面を強く保つ上で何を工夫していますか？

A2. 選手としては試合中突然の対応を求められることが多いので、コーチへ強い信頼を持ち続けています。コーチと良い信頼関係ができていることで、メンタルを強く持ち、心の準備ができます。

Q3. (アレックス選手に対して) コーチと選手の間で良い人間関係を築く上で何が重要ですか？

A3. 長時間一緒にトレーニングをし、過ごしています。実際に試合に出て勝つという成功を2人で経験することが重要だと考えています。



成蹊大学のオンラインインタビューの様子

オンライン取材に参加する讀井特派員

今回のインタビューを通して、武蔵野市というコミュニティへ発信する際のパラスポーツという言葉の捉え方が広がりました。特に、成蹊大学が行なったインタビューを聞き、その後質問者側だった方々とルーマニア交流事業についてお話を伺ったことが印象に残っています。成蹊大学が行なっているルーマニア交流事業も、情報を得るために必要な準備をし学んだことをより大きいコミュニティへ発信していくものであり、自分達のジュニア特派員として行ってきた活動とのつながりが感じられ嬉しかったです。オリンピック・パラリンピック開催まで間もないですが、今後も魅力を伝えられるよう頑張りたいです。

(取材・文) 讀井 彩夏

3月3日(水) 有馬選手 対面取材@武蔵野市役所 / 吉田選手 オンライン取材@武蔵野市役所 ⇄ 選手自宅

Sports for All水球に何度もご出演いただいている有馬選手と吉田選手。有馬選手は市在住ということで直接、吉田選手はZOOMで取材を行いました。お2人の人柄の良さが感じられる和やかな取材となりました。みんなで東京2020オリンピックの出場を期待しましょう！

昨年(さくねん)のSports for All水球はオンラインでの開催(かいさい)となりました。水球(すいきゅう)の迫力(はくりょく)が伝わ(つた)ってくる、とてもかっこいい動画(どうが)になっていますので是非(ぜひ)見てみてください！



Sports for All 水球2020
Youtube

よしだ たくま せんしゅ
吉田 拓馬 選手インタビュー



ひだり ありませんしゅ よしだせんしゅ いしはらとくはいん さいどうとくはいん
左から、有馬選手、吉田選手(スクリーン)、石橋特派員、齋藤特派員

よしだせんしゅ
吉田選手へのインタビュー

Q1. コロナ禍(か)ではどのようなことをしていましたか？

A1. オリンピックが延期(えんき)になりショック(う)を受けたけれども、他のアスリートも頑張(がんば)っているの、コロナ対策(たいさく)をしながら練習(れんしゅう)をしています。

Q2. 自粛(じしゅく)期間(かんちゅう)中に自宅(じたく)でやっていたトレーニング(たれいんぐ)は何(なん)ですか？

A2. 日本代表(にほんだいいょう)選手(せんしゅ)たちとZOOM(つか)を使いトレーニング(たれいんぐ)をしていました。サーキット(さーきくと)トレーニング(たれいんぐ)や腕立(うでた)て伏せ(ふ)せなど、全身(ぜんしん)を動か(うご)かすトレーニング(たれいんぐ)を行いました。

Q3. オリンピック(しゅつじょう)出場(む)に向けて今(いま)の意気(いき)込み(こみ)を一言(ひとこと)！

A3. まず(まづ)はメンバー(めんば)に選(えら)ばれるように練習(れんしゅう)を頑(がん)張(ば)りたいです。メンバー(めんば)になれたら、メダル(めだ)獲得(かくとく)のためさらに練習(れんしゅう)していきたくたいです。

※ 5月20日(がつ)に日本代表(にほんだいいょう)として内定(ないてい)しました。

よしだせんしゅ やさ
吉田選手(よしだせんしゅ)は優(やさ)しくわ(わ)かりやす(やす)く答(こた)えてくれました。心(こころ)に残(のこ)ったのは自宅(じたく)でのトレーニング(たれいんぐ)方法(ほうほう)です。オンラインで集(あ)まり練習(れんしゅう)することでお互(たが)いに体(からだ)の動(うご)きなどを確(かく)認(にん)し合(あ)えろという話(わ)に興味(きょうみ)を持ちました。オリンピック(しゅつじょう)出場(む)に向け(む)て頑(がん)張(ば)って欲(ほ)しいです。

しゅざい おん さいとう こはね
(取材・文) 齋藤 倅羽



どう
銅メダルをかけてもらって記念撮影！

ねん か き
2017年夏季
ユニバーシアード



ねん たいかい
2018年アジア大会



ありませんしゅ み さいやう どう
有馬選手から見せてもらった貴重な銅メダル

オリンピックに向けて、有馬選手にインタビュー

Q1. オリンピックが1年延期になったことでモチベーションの維持が大変だと思いますが、モチベーション維持のために気をつけていることは何ですか？

A1. オリンピックに出場し、ファンや支えてくれた人々に恩返しをしたいという思いで頑張っています。

Q2. 今まで水球をやってきた中で一番嬉しかったことは何ですか？

A2. 初めて日本代表になった時です。なぜなら、オリンピックに出てメダルを手に入れるという夢に向かって頑張る一歩をふみ出せたからです。

Q3. オリンピック出場に向けて今の意気込みを一言！

A3. まだオリンピックの正式な選手が決まっていないので、まずは選ばれるように頑張りたいです。

※ 5月20日に日本代表として内定しました。

ありませんしゅ
有馬選手にインタビューをした時、かがやくメダルを見せられました。そのメダルを見て、僕は有馬選手の
どりよく けっしょう おも ぼく すいきゆう きょうみ も すいきゆう おも
努力の結晶だと思いました。僕はより水球に興味を持つことができ、いつか水球をやりたいと思いました。

しゅざい ぶん いしばし そうた
(取材・文)石橋 壮太



インタビューの様子



ありませんしゅ み どう きょうみぶか み ふたり
有馬選手から見せてもらった銅メダルに興味深く見る二人

ブラインドマラソン

あおき ようこ せんしゅ
青木 洋子 選手

ブラインドサッカー

たなか あきひと せんしゅ
田中 章仁 選手

3月26日(金)オンライン取材@武蔵野市役所 ⇄ NTTクラリティ(株)

市内のNTTクラリティ(株)に勤務しているブラインドマラソンの青木洋子選手とブラインドサッカーの田中章仁選手にオンライン取材を行いました。一つ一つの質問に丁寧に答えてくださったお二人。

青木選手と田中選手は市内の小中学校でパラリンピック教育支援として、ブラインドマラソンとブラインドサッカーの授業を行っていただいています。お二人の授業を受けたことがある人もいないのでしょうか。今回は競技を始めたきっかけや障害者スポーツを通して私たちに考えてもらいたいことなどを聞いてみました。



青木選手に質問して分かったこと

Q1. 走っているときはどんな気持ちですか？

A1. 伴走者に「今こんなところを走っているよ」などと、景色を教えてもらったりでき、いい気分になれます。

Q2. ブラインドマラソンをやっていて嬉しかった瞬間は何ですか？

A2. 伴走者に、走っていて楽しかったといってもらえた時。伴走者と一緒に走ること嬉しさや楽しさも2倍になります。

Q3. ブラインドマラソンを始めたきっかけは何ですか？

A3. 田中選手に目が不自由な人でもできるスポーツがあるよと教えてもらったのがきっかけです。

Q4. 失敗した時や挫折をしたときに立ち直るためにしていることは何ですか？

A4. なぜだめだったか、振り返って切り替えて次へ進むよう意識しています。

僕は、目が不自由でも、伴走者に景色を教えてもらっていい気分になれるなんて、目が不自由でも、そうでなくても同じだなあ、と思いました。目が見えなくてもマラソンが出来るなんてすごいことだと思いました。

(取材・文)中田 隼太郎



オンラインインタビューの様子



直接見せていただいたメダルと、伴走者とランナーをつなぐガイドロープ

田中章仁選手へのインタビュー

Q1. ブラインドサッカーを始めたきっかけは何ですか？

A1. サッカーが好きだったというのが1つあります。視力が低下し運動不足になってしまった時、友人がブラインドサッカーをやっていたので、やるなら好きなサッカーをやろうと思い、健康のために始めました。また、チームに日本代表で戦っている選手がいたので、自分も目指そうと思いました。

Q2. 東京2020パラリンピックが延期になった今の心境、コロナ前と後で変わったことは何ですか？

A2. 延期になった時には、残念な思いと、本当に1年後に開催できるのかという不安がありました。延期された時間で何ができるのかを考え、取り組んできました。あと5か月でパラリンピックが開催されるので、すごく楽しみです。

変わったのは、コロナ対策をしたり、オンラインでトレーニングしたりしたことです。みんなでつながって、トレーニングできたのはすごく良かったなと思います。

Q3. 今年のパラリンピックを通じて、私たちに考えてもらいたいことは何ですか？

A3. 普段はどんな困り事があるのかなど、スポーツをきっかけに障がい者について考えてもらいたいです。

パラリンピックが延期されても、仲間同士オンラインで練習をしたり、自宅でトレーニングをするなど様々なことに前向きな気持ちで取り組む田中選手。その努力を知って、より応援したいと思いました。

(取材・文) 森 麻希



インタビュー終了後、記念撮影。
早く対面で直接取材できるようになるといいですね。

3月18日(木) オンライン取材@武蔵野市役所 ⇄ イングランド

武蔵野東小学校在学中、関前サッカークラブに所属していた岩渕選手。

現在はイングランドのチームに所属しており、イングランドの自宅からオンライン取材に参加していただきました。北特派員もサッカーを習っていることもあり、憧れの岩渕選手から色々な話を聞くことができた貴重な体験となりました。取材当日は岩渕選手の誕生日！ということもあり、取材の最後には皆で誕生日もお祝いしました。



インタビューの様子



上をめざしてひたすら進む！武蔵野市出身のなでしこ、岩渕真奈選手

Q1. コロナ禍での練習について教えてください。

A1. 緊急事態宣言が出た時は、ランニングなどしかできない状態が1、2か月続きました。小学生からサッカーを始めましたが、こんなに長くサッカーと離れたことはありませんでした。

Q2. オリンピックが1年延期となりましたが、モチベーションを維持するために気を付けていることは何ですか。

A2. オリンピックでの活躍を目標としていたので、延期となってしまったことは残念でした。しかし、選手として成長し上をめざすために一日一日やっていくことに変わりはありません。今はとにかくやるだけです。

Q3. 今までで一番心に残っているのはどの試合ですか。

A3. もちろんワールドカップ優勝も嬉しかったですが、悔しかった試合の方がよく覚えています。2016年のリオデジャネイロオリンピックは、尊敬している先輩たちにとって最後の代表の試合だったのに、予選敗退となって出場できませんでした。その時に、自分はチームの力になれずに終わってしまったという無力さを痛感したことが、特に心に残っています。

Q4. 武蔵野市のみなさんへメッセージがあれば教えてください。

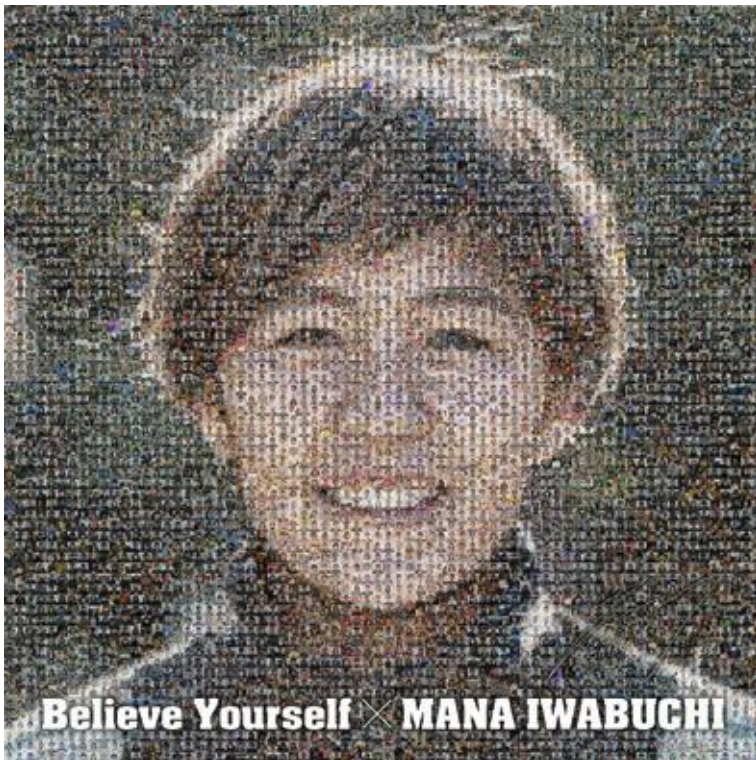
A4. 武蔵野市は私の生まれ育った大好きな場所です。地元のみなさんからの応援はとても力になります。これからもたくさん応援していただけたら嬉しいです。

岩渕選手は、「どんな試合でも自分が点をとってチームが勝つと嬉しい」と話していました。それは、サッカーが大好きで、いつでも本気で練習に取り組んでいるからこそ感じられることだと思いました。岩渕選手の活躍に期待しています！

(取材・文) 北 みれい

「みんなが笑顔になる」岩渕真奈応援プロジェクト

コロナ禍の中、岩渕選手から武蔵野市の皆さんや医療従事者の方へ激励のメッセージを送っていただきました。武蔵野市ではその思いに応え、「みんなが笑顔になる」岩渕真奈応援プロジェクトを立ち上げ、その一環として「武蔵野スマイルフォト大募集」企画を行いました。おかげさまで多くの方からスマイルフォトをお送りいただき、無事岩渕選手のフォトモザイク笑顔画を完成させることができました！ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。



岩渕選手からのメッセージ動画



展示の様子

4月8日(木)・9日(金)に東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレートーチの展示を武蔵野市役所1階ロビーで行いました。その際に岩渕選手のフォトモザイク笑顔画も一緒に展示しました！2日間で多くの方にご覧いただき、見た方も名前の通り笑顔になって帰って行きました。



トーチ展示

コラム



ジュニア特派員
なかた ゆうじ
中田 裕二

聖火リレーの歴史・秘密

聖火リレーとは、ギリシャのオリンピアでともされた火を開催地までリレー形式で運ぶもので、平和や希望の象徴とされています。この聖火リレーは1936年のベルリン大会から毎行行われています。当時は採火をする場所から会場まで3075kmを3075人の聖火ランナーによって運ばれていました。また、2014年に行われた冬季ソチオリンピックでは、ロシアのバイカル湖や宇宙空間に聖火を持っていくなど変わった取り組みもありました。そんな聖火の火が走っている途中で消えてしまうことも珍しくありません。そのような場合に備え、予備の聖火も用意されているそうです。

ところで、聖火ランナーには誰もが応募することができますが、東京2020オリンピックでは約53万人もの人々が応募したそうです。そのうち実際に走ることができる人は約1万人、1人当たり200mを約2分間で走ります。

今年の聖火リレーは3月25日に福島県を出発し、121日をかけて全国を周り、7月23日に最終地点である東京に到着します。沿道での密な応援はできるだけ控え、自宅やオフィス等から応援するようにしましょう。

編集後記

むさしのジュニア2020通信をご覧いただきありがとうございます。

2020年新型コロナウイルス感染症パンデミックにより、私たちも、アスリートも、いつもの調整ができずに不安な日々を送り、まさかの備えもなく、先の読めない状況にありました。メンタルヘルスへの影響は計り知れないものがあります。

それでも、東京オリンピック・パラリンピックに向け、何かを残さなくてはと、小さな活動かもしれませんが、2021年初夏、「むさしのジュニア2020通信 Vol.5」をお届けすることになりました。特派員の取材活動や、ご協力いただいたアスリート、関係者の皆さまの思いはきっと伝わることでしょ。

今までにない状況下でのオリンピック・パラリンピックですが、ピンチはチャンスと考え、世界中の人々の心に希望と勇気が届きますよう、そして良い手本となるフィナーレを迎えられるよう一丸となって臨んでいきましょう。

(ジュニア特派員サポーター：内藤 尚子)

【発行】東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けた武蔵野市実行委員会
(事務局) 武蔵野市総合政策部企画調整課 (オリンピック・パラリンピック担当)

〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 TEL: 0422-60-1970 (直通) FAX: 0422-51-5638